

## 院長挨拶更新

短い梅雨明けのあとに大雨となり、そしてようやく夏本番が来たようです。まず、当院での新型コロナウイルス感染者の多発により、患者様や地域の皆様にご迷惑、御心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

当院も、7月初旬からこれまでと比較にならない第七波に見舞われています。それまでも家庭内からの職員の感染が散発的に生じていましたが、複数の病棟で同時にクラスターが発生し、患者様と担当職員に感染が急速に広がりました。クラスターが発生した病棟では、一定期間、新たに患者様を受け入れることができなくなります。よって、入院可能な病床が限られ、予定されていた入院や手術をやむなく延期させていただきご連絡を差し上げた患者様も多くおられました。たいへんなご迷惑をおかけしたこと、あらためて深くお詫び申し上げます。新型コロナウイルス陽性患者さん用としていた病棟では、全病棟を陽性用に空けようとしていた矢先のクラスター発生で、陰性の一般患者様を移動させる病床がなくなってしまうました。やむなく、クラスターの生じた、もともとコロナ用ではない病棟でも、陽性患者収容ゾーン（＝レッドゾーン）と陰性患者ゾーン（グリーンゾーン）を分けてその病棟内で両方の患者様をみる体制にせざるを得ませんでした。最近、ようやく一部の病棟を残してクラスターが収束しつつあり、コロナ専用病棟の50床すべて陽性患者さん用として、他の病棟での入院や手術の実施が正常な方向に戻りつつあります。1月の第6波では、院内での議論の末に救急外来も2日間受け入れを停止しましたが、今回はそれだけは避けようと、稼働できる職員全員でがんばって維持してきました。

しかし、その救急外来は、一般の救急に加えて、極めて多くの「発熱外来」患者さんが来られ、休日や時間外では何時間も診察をお待たせするようなことが続いています。休日には、研修医が自発的に発熱外来のサポートを申し出てくれました。みなできることはやろうとがんばっております。現在のBA.5という株の感染力は強いようで、不織布マスクでは十分防御できない、という説もあります。感染力と重症化リスクがさらに高いといわれる、BA.2.75という不気味な株も出現しているようです。医師会の先生がたのご尽力により、コロナ対応の医療機関は増加していますが、とりわけ休日や夜間ではその数がお限られているため、できれば平日に医療機関へのご相談や受診をしていただくことを当院HPでもお願いしております。最近、熊本市なども、若い世代の軽症の場合、休日夜間は、可能なら自宅にて市販薬なども用いて静養いただき、できるだけ平日時間内に医療機関を受診していただくようお願いしています。ただし、少ないとはいえ、高齢者のみならず、若い世代でも、息苦しい、水も飲めない、意識がおかしい、痙攣する、というような重症化もあり得ますので、そのときはご遠慮なくご相談ください。また、心筋梗塞や脳卒中、外傷など、通常の緊急受け入れはいつでも当然変わらずに対応しています。その

ためにも、もともとお元気な状態で症状が軽いかたは、時間外受診をひかえていただけるとありがたいです。陽性妊婦さんのお産に関しては、県内全域で対応できる医療機関が限られており、また陽性者の出産は概ね帝王切開になるので、特に妊娠後期の妊婦さんは、一般の方以上にできるだけ感染機会を避ける生活を願っています。

もちろん、私たち熊本労災病院としては、現況の中で、入院・外来診療で最大限の診療努力を継続します。

コロナばかりの日々ですが、よる年波で、昔のことばかりを思い出します。学生のころの夏休み、帰省したときの実家の食べ物、新潟では、ザルに山盛りの枝豆、鮮やかな紫のパリッとした小ナスの浅漬、つややかな筋子と美味しいご飯。熊本ではどのような食べ物でしょう。シャク为天ぷら？ 馬刺しも懐かしいでしょうね。魚の刺身は、アニサキスに注意です。今年も、くま川まつりは中止になりました。あと人生で何回夏休みをすごせるだろうと思うと、もういい加減、なんでも普通に生きたい、と切に思います。でも今しばらくは、なるべく人と接触する機会を減らすほうが無難かと思います。これまでは、波はだいたい1ヶ月くらいおさまっています。秋の訪れとともにウイルスがおとなしくなることを期待して、暑い夏をじっと乗り切りたいと思います。